



## 概要説明書 (画面表示のご紹介)

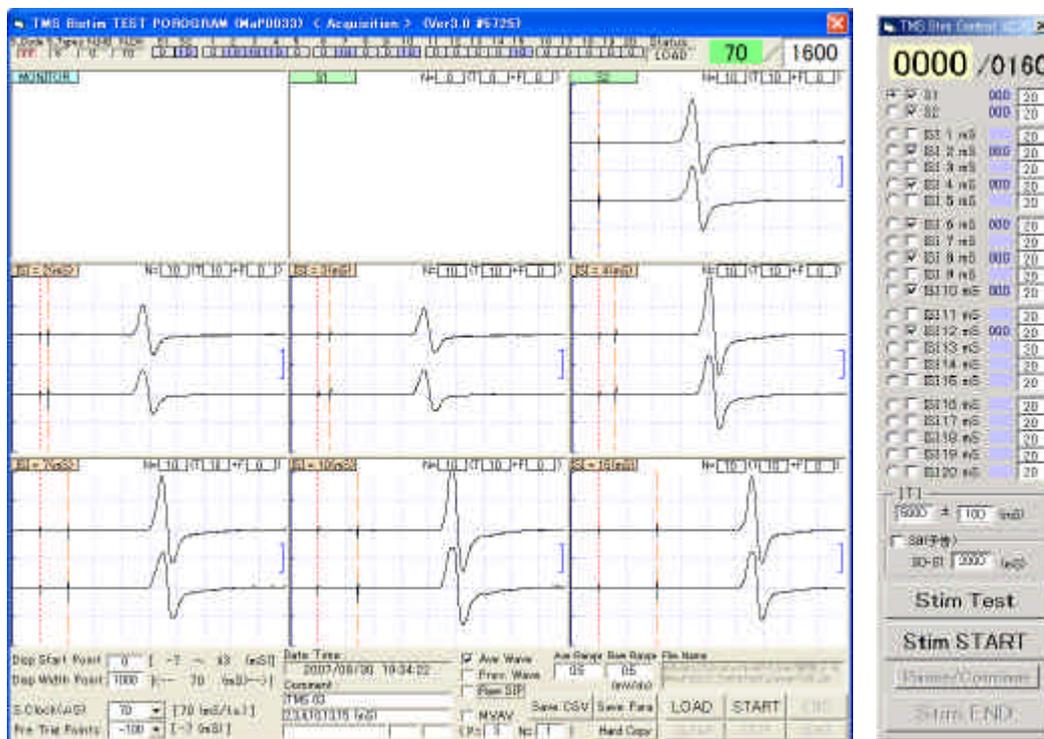


図 1 . 取込の画面

## 主な操作概要

- 検査プログラム (図 1 左) を立ち上げ、解析時間とトリガを設定 (確認) する。
- 刺激コントロールプログラム (図 1 右) を立ち上げ、刺激パターンを設定する。
- 取込み開始は START をクリックしてファイル名を設定する。
- 刺激コントロールプログラムの START をクリックして刺激を開始する。
- 左上に測定中のモニタ波形 (刺激トリガごと) がリアルタイムに表示される。
- 刺激条件ごとに自動的に振り分け各ピクチャーボックスへに生波形と加算波形がリアルタイム表示される。
- 測定後、各ピクチャーボックスをクリックすると各刺激条件ごとの拡大表示を行い時間と振幅を測定できる。(面積計測や自動ピーク検出機能がある)
- Save Para をクリックすると加算条件フラグや計測値を更新できる。(測定後の生波形や加算波形は全て自動的に SAVE されています。)
- 加算波形はテキストファイル(CSV 形式)に出力でき、EXCEL などの表計算ソフトで自由に表示できる。

加算処理を行う計測部と刺激のコントローラを行う刺激部が完全に独立しているため、既存機器との組み合わせが可能です。



## 刺激コントローラのご紹介

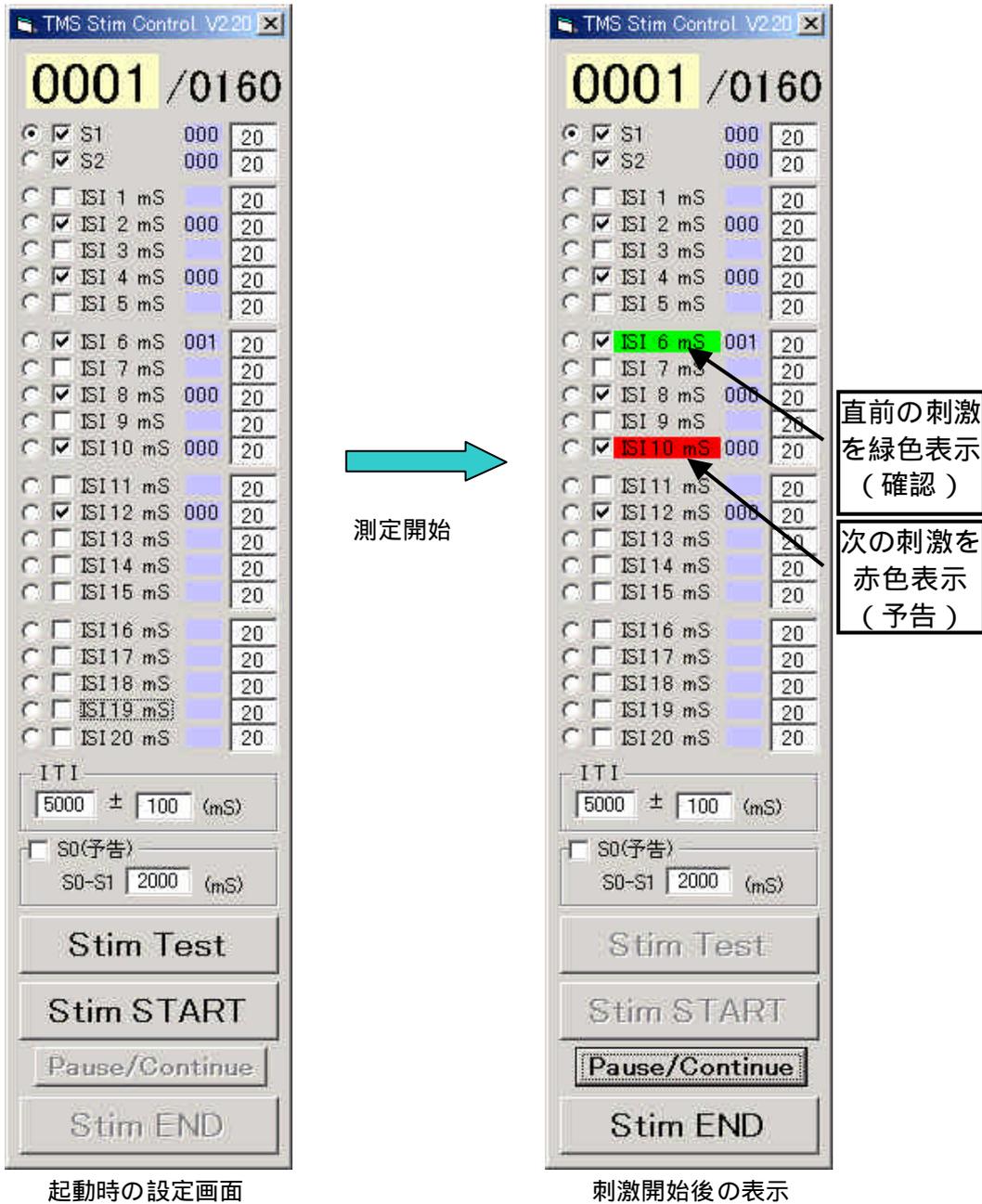


図 . 2 刺激コントロール画面

### 主な操作概要

刺激条件の設定を行う。

- ・ 刺激を行いたい S1,S2,ISI の (チェックボックス) をチェックする。

( ISI XX mS は最大 6 個まで選択できます。 )

- ・ 各刺激条件の回数、ITI 時間、予告刺激の選択と S0-S1 時間を設定する。

本番前にこの刺激テストを行える。(レジスタ) で選択し Stim Test をクリックすると 1 組の刺激パルスがマニュアル出力される。

Pause/Continue をクリックすることで、刺激の中断 / 継続ができる。

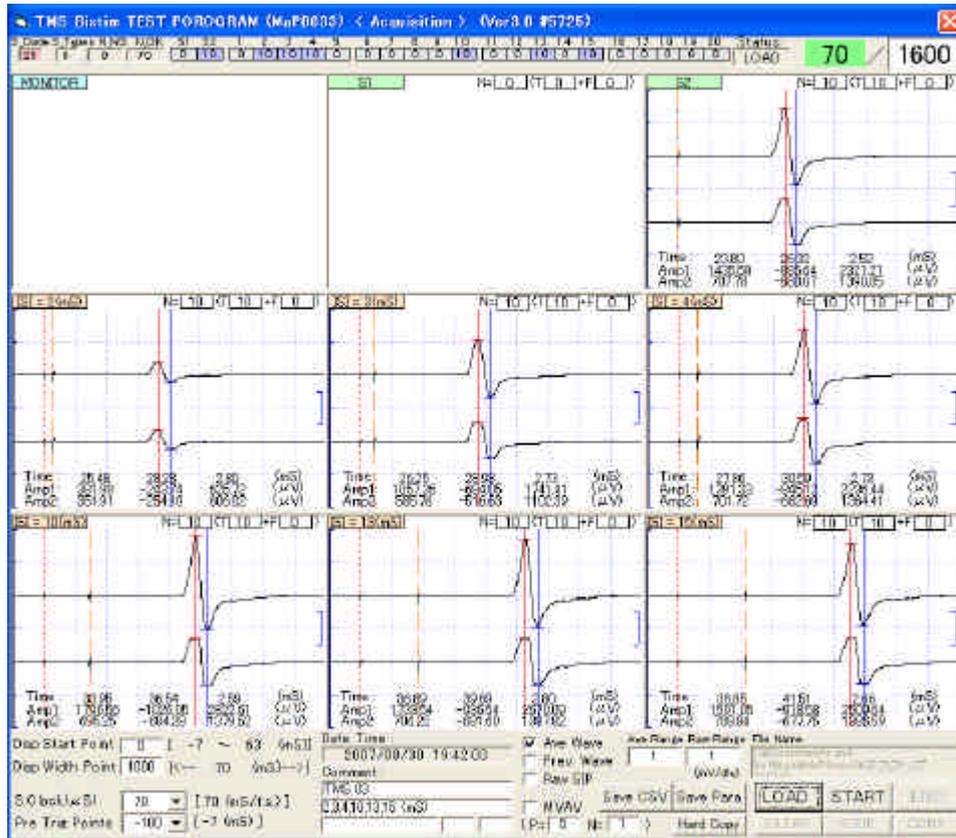


図 3 . 取込中並び取込後の画面表示 ( Average 波形のみ )

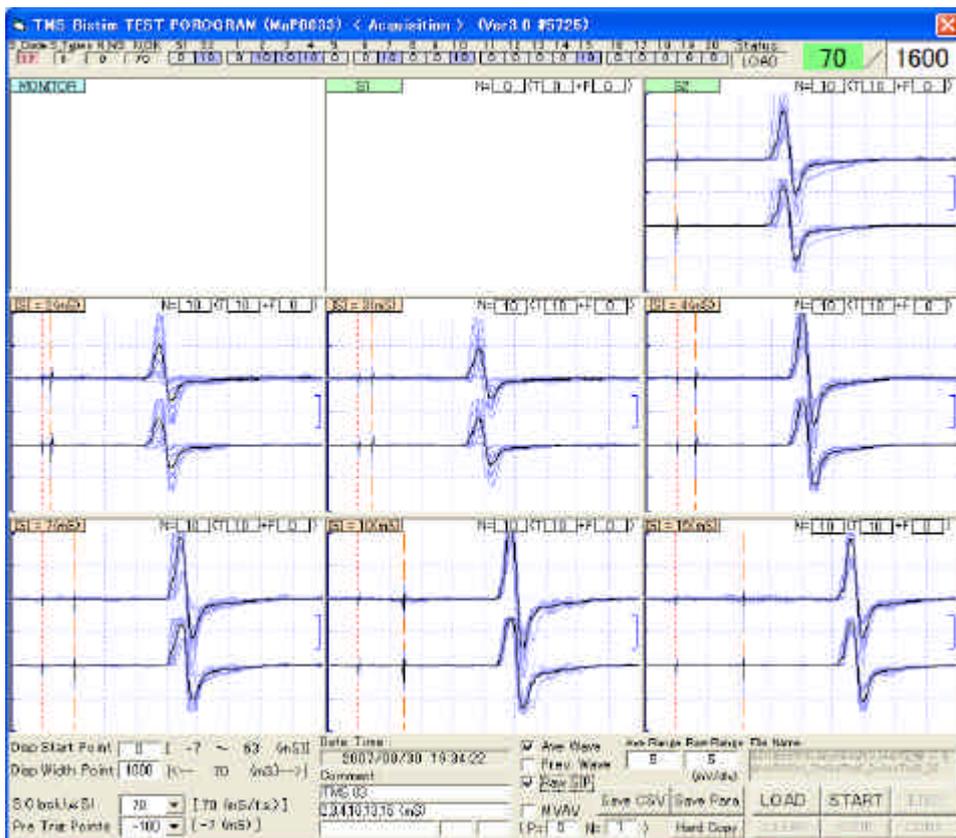


図 4 . 取込中並び取込後の画面表示 ( Average 波形と生波形の重畳 )

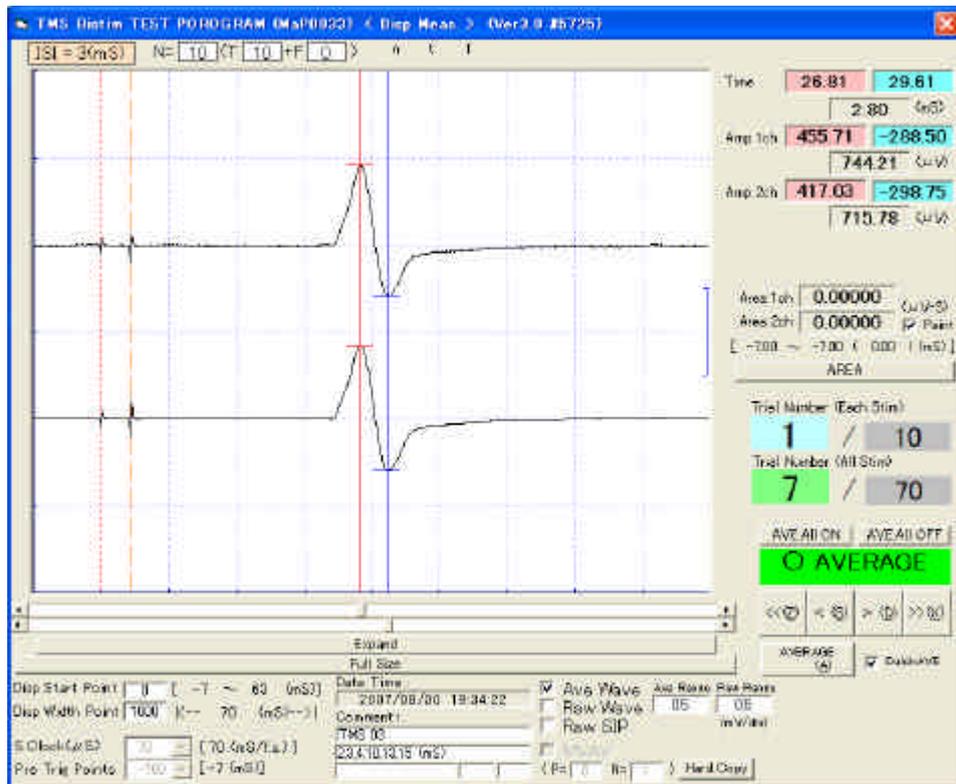


図 5 . 各刺激条件ごとの拡大表示と計測画面 (Average 波形のみ)

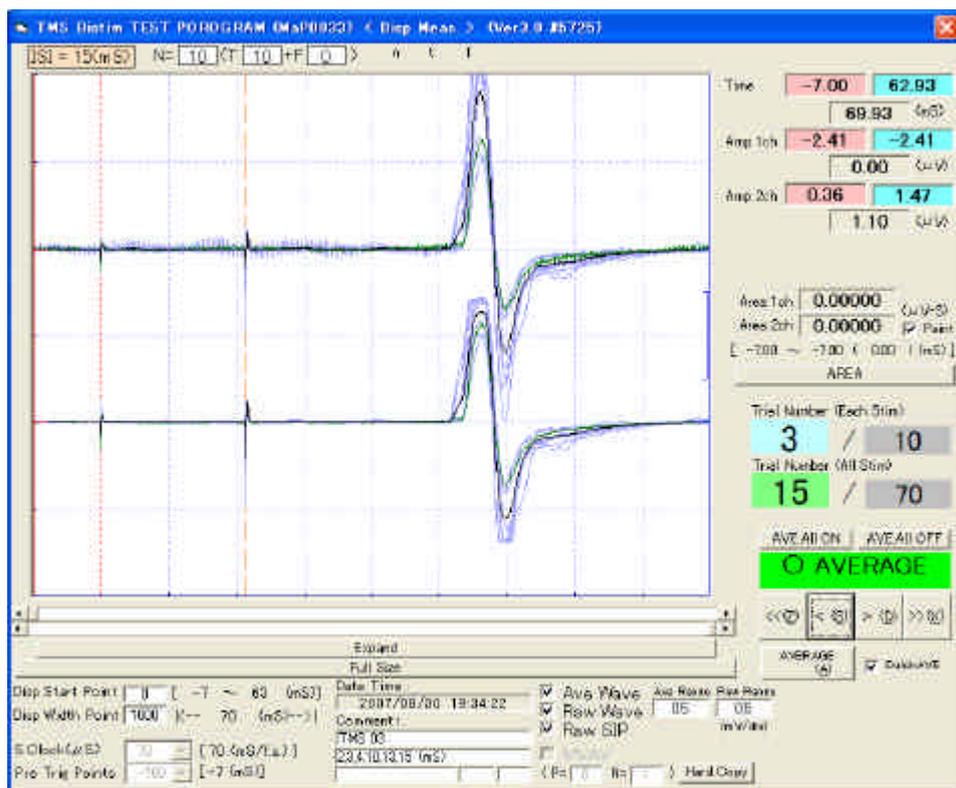


図 6 . 各刺激条件ごとの拡大表示と計測画面 (Average 波形と生波形の重書)  
(この画面ではトライアルごとの生波形を表示し選択加算もできる)